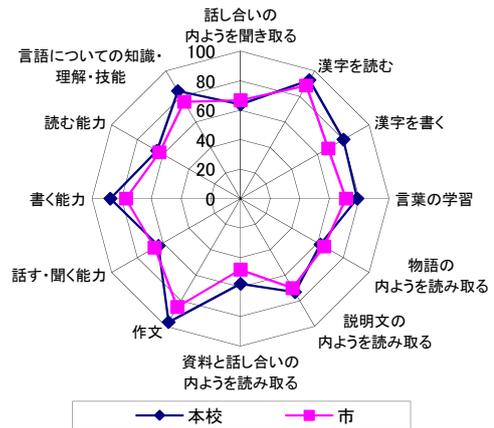


宇都宮市立海道小学校 第5学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

	本年度		
	本校	市	
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	63.8	66.6
	漢字を読む	92.9	88.4
	漢字を書く	80.0	68.2
	言葉の学習	78.6	71.0
	物語の内ようを読み取る	62.1	64.9
	説明文の内ようを読み取る	73.3	70.1
	資料と話し合いの内ようを読み取る	57.9	48.3
	作文	96.8	84.9
観点別	話す・聞く能力	63.8	66.6
	書く能力	87.6	77.1
	読む能力	64.9	63.0
	言語についての知識・理解・技能	84.2	75.8



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	・市の正答率に比べ本校の正答率は、約3%ほど下回っている。その内容は、話の工夫を考えながら、話の内容を聞き取る問題が8%下回っていた。	・朝の会におけるスピーチタイムなどの決められた形での発表の時間を確保するとともに、1つの話題から質疑応答を取り入れ、話を深めていく活動を設ける。 ・普段の授業の中で教師の話や友達の意見を聞き取ることを毎時授業者が念頭において授業を行う。
漢字	・本校の正答率は、92.9%と高く、市の正答率に比べ4.5%上回っている。その内容は、第5学年の漢字の読みが100%と十分身についている。	・継続して、5年間に学習した漢字を振り返るとともに、書き取りテストを行うことで身に付けさせる。 ・作文やノート、プリント等の提出物で漢字の間違えをチェックし正しく書けるようにする。
言葉の学習	・市の正答率に比べ本校の正答率は、7.5%上回っている。その内容は、句読点の打ち方の理解は100%であったものの、漢字の成り立ちについての理解は市の正答率を7%下回っているものもある。	・新出漢字を扱う際に、漢字の成り立ちについて確認するなど、日常的に復習する。 ・ことわざに関しては、司書教諭と連携して巡回図書等で教室にことわざに関する本を置いて、児童にふれさせる機会を増やす。
物語の内ようを読み取る	・市の正答率に比べ本校の正答率は、約2.8%下回っている。登場人物の気持ちを読み取る問題では、正答率82%と高い正答率だが、場面の描写をとらえて、表現の特徴をつかむ問題では、市の正答率を13%下回っている。	・文章をじっくり読み、場面の様子などを深く読み取らせるために、物語に触れる機会を多くする。 ・物語に書かれている文章や言葉を大切に扱う指導を授業の中で行っていくとともに、問題が指し示している意味をしっかりと理解させるようにする。
説明文の内ようを読み取る	・市の正答率に比べ本校の正答率は、約2%下回っている。その内容は、文脈に即した内容を理解の問題が8%、段落と段落の関係の問題が6%と大きく下回っている。	・筆者の主張を読み取る根拠となる言葉を押さえながら段落の要点をまとめさせる学習に取り組む。 ・段落相互の関係を接続語に着目して考えさせるなど、説明的文章の読解力の向上を図る。
資料と話し合いの内ようを読み取る	・市の正答率に比べ本校の正答率は、9.6%上回っている。話し合いの内容を正確に読み取って考える問題では、市の正答率を12%上回り、高い正答率である。	・教科に関わらず、資料をもとに自分の考えを文章に書き表す活動を多く設ける。 ・見方の違いで同じ事象でも表現の仕方がちがってくることを生活の中で指導する。
作文	・本校の正答率は、96.8%と高く、市の正答率に比べ12%上回っている。	・継続的に日記指導を行ったり、行事の度に作文指導を行ったりと、文章を書く時間を多くし、書くことに慣れさせる。